

PRESS RELEASE

2014年2月13日【一部参考日本語訳】

アルカテル・ルーセント、2013年度第4四半期と通年の決算を発表

- 第4四半期と2013年度通年には営業利益率と事業別営業キャッシュフローが大幅に改善
- 第4四半期には固定費を1億400万ユーロ削減、2013年度通年の固定費節約額は3億6,300万ユーロに
- The Shift Plan 2015の目標達成に向けて順調に進展、コスト削減、キャッシュ生成、および利益ある成長の継続に注力
- 技術系投資会社のChina Huaxin(中輕華信)からAlcatel-Lucent Enterprise買収の拘束力を持つオファー、Alcatel-Lucent Enterpriseの企業価値を総額2億6,800万ユーロと評価。アルカテル・ルーセントは15%の少数持株を保持

2013年度第4四半期の主な業績指標

百万ユーロ(1株あたり利益を除く)	第4四半期 2013	第4四半期 2012	増減 ^(a) (%またはポイント)	通年 2013	通年 2012	増減 ^(a) (%またはポイント)
損益計算書						
売上高 ^(a)	3,930	4,096	-0.1%	14,436	14,449	2.9%
コア・ネットワークキングおよびアクセス事業の売上高 ^(a)	3,699	3,835	0.4%	13,541	13,473	3.6%
調整後 ⁽¹⁾ 売上総利益	1,349	1,244	8.4%	4,643	4,341	7.0%
対売上比	34.3%	30.4%	3.9ポイント	32.2%	30.0%	2.2ポイント
調整後営業利益 ⁽²⁾	307	115	約2.7倍	290	(263)	Nm
対売上比	7.8%	2.8%	5.0ポイント	2.0%	-1.8%	3.8ポイント
純利益(損失)(グループ内シェア)	134	(1,558)	Nm	(1,304)	(2,011)	Nm
希薄化後1株当たり利益(ユーロ)	0.05	(0.69)	Nm	(0.57)	(0.89)	Nm
キャッシュフロー計算書						
事業別営業キャッシュフロー ⁽³⁾	499	368	35.6%	247	79	約3.1倍
フリーキャッシュフロー	363	353	-	(636)	(685)	-
事業再編費用を除くフリーキャッシュフロー	557	438	-	(114)	(345)	-
The Shift Planの主要指標						
コア・ネットワークキング事業の売上高 ^(a)	1,716	1,854	-3.6%	6,094	6,180	1.9%
調整後営業利益	257	195	31.8%	472	142	約3倍
対売上比	15.0%	10.5%	4.5ポイント	7.7%	2.3%	5.4ポイント
アクセス事業およびその他による営業キャッシュフロー	239	133	79.7%	(111)	(126)	11.9%
グループ全体の固定費削減額	104	-	-	363	-	-
グループ全体の対売上販管費比率	12.1%	13.3%	-1.2ポイント	14.1%	15.7%	-1.6pt

(a) 売上高の増減は為替レートを固定して計算

The Shift Plan 2015 の目標達成に向け順調に推移

- IP およびクラウド・ネットワーキング、ウルトラ・ブロードバンドによる固定およびモバイル・アクセスの専門企業としての位置付けを改めて確認、大規模契約を複数獲得すると共に市場シェアを拡大
- イノベーション面での主要実績: 20 件の IP コア契約、400G までの光データ伝送トライアルに成功、SDN では 3 件の初の商業契約を獲得、NFV では仮想化ロードマップと 8 件の概念立証試験、小規模セルに関してクアルコムとの間に戦略的提携、ワイヤレスでは Carrier Aggregation と eMBMS、17 件のベクタリング契約、G.fast
- 通年の固定費を 3 億 6,300 万ユーロ削減、うち 1 億 400 万ユーロは第 4 四半期、通年の目標であった 2 億 5,000 万～3 億ユーロを大きく上回る
- 12 月には LGS の売却を発表、本日は China Huaxin から Alcatel-Lucent Enterprise 買収に向けた拘束力を持つオファーを受けたことを発表
- 貸借対照表の内容を改善、以下の項目により 2013 年度末時点での純現金残高は 1 億 4,900 万ユーロ
 - 株主割当発行と 2015 OCEANE の残り分変換を通じて資本金を 10 億ユーロ増額
 - 下半期に実施したさまざまな財務活動により負債再編をほぼ完了
 - 短期および中期に満期となる負債について事前に資金調達または償還

【2014 年 2 月 6 日、パリ発】アルカテル・ルーセント(CEO: ミシェル・コンブ(Michel Combes))は、2013 年度第 4 四半期の決算を発表し、為替レートを固定した場合の売上高が前年同期から横ばいの 39 億 3,000 万ユーロとなったことを発表しました。コア・ネットワーキングとアクセス事業の売上高は、為替レートを固定した場合前年同期比 0.4%増でした。為替レートを固定した場合の前期比では、特に IP プラットフォーム、IP トラフィック、およびワイヤレスの好調を反映してグループ全体の売上高は 8.8%増、コア・ネットワーキングとアクセス事業では 8.9%増でした。

地域ごとでは、為替レートを固定した場合、北米は前四半期から減速して前年同期比 2%増、アジア太平洋地域では中国でのネットワーク展開を推進力として前年同期比 10%増の好業績を達成しました。西欧でも良いトレンドが続き、またロシアでも成長に復帰しました。他の地域では 10%台半ばの低下でした。

2013 年度通年のグループ全体の売上高は為替レートを固定した場合に前年度比 2.9%増加し、コア・ネットワーキングとアクセス事業部のみでは 3.6%増でした。通年の業績は、IP ルーティングの 2 桁成長、WDM および IP プラットフォームでの進展、およびいづれも大規模なネットワーク展開が推進役となったモバイルと固定のウルトラ・ブロードバンド・アクセスの好業績を含め、好調な傾向を反映しています。このことは市場シェアの拡大によってさらに裏付けられています。

第 4 四半期の売上総利益率は 34.3%に達し、前年同期からは 400 ベースポイント近く、前期からは 170 ベースポイントの増加でした。この前年同期からの増加は有利な製品ミックス、業務改善、および固定費の削減を反映しています。前期からの増加は主に運転経費の削減を反映したものです。通年の売上高総利益率は 32.2%で前年度比 220 ベースポイント増でした。

グループ全体では第 4 四半期に 1 億 400 万ユーロの固定費を削減し、通年の固定費削減幅は目標であった 2 億 5,000 万～3 億ユーロを大きく超える 3 億 6,300 万ユーロとなりました。グループの第 4 四半期の対売上高販管費比率は 120 ベースポイント減の 12.1%に達し、通年では 160 ベースポイント減の 14.1%でした。

第 4 四半期の調整後営業利益は売上高の 7.8%に相当する 3 億 700 万ユーロで、前年同期は売上高の 2.8%に相当する 1 億 1,500 万ユーロでした。この利益拡大はコア・ネットワーキングとアクセス事業部門の

大きな改善を反映したものです。2013 年度全体では、グループの調整後営業利益は 2 億 9,000 万ユーロで、前年度から 5 億 5,300 万ユーロ改善しました。

グループの第 4 四半期の純損益(連結)は 1 億 3,400 万ユーロの利益、1 株当たりでは 0.05 ユーロの利益でした。通年で計上した 13 億 400 万ユーロの損失には、特に第 2 四半期に計上したものを主とする 5 億 4,800 万ユーロの資産減損費用が影響しました。

第 4 四半期の事業別キャッシュフローは 4 億 9,900 万ユーロに達し、前年同期は 3 億 6,800 万ユーロでした。第 4 四半期のフリーキャッシュフロー⁵は事業再編費用を除外して 3 億 6,300 万ユーロで、1 億 1,900 万ユーロの改善でした。通年の事業再編費用と支払利息を除外したフリーキャッシュフローは 6 億 3,600 万ユーロの赤字で、3 億 2,400 万ユーロの改善でした。

アルカテル・ルーセントの貸借対照表は、株主割当発行による 9 億 5,700 万ユーロと 2015 OCEANE の残り分変換を通じ、第 4 四半期に資本金を 10 億ユーロ増額したことにより大きく強化されました。また 2013 年度下半期にグループは、特に近く満期を迎える短期と中期の負債を対象とした事前資金調達または償還、ならびに担保付き上位債の一部償還と価格改定を中心とした負債再編と資本構成最適化のための一連の取引を行いました。2014 年度全体では、純現金利払費用の年間ランレートを 2 億 6,500 万ユーロと予想しており、これに対し 2013 年度は 2 億 9,500 万ユーロでした。

グループは 2013 年度末直前に LGS を最高 2 億米ドルで売却する契約に調印したことを発表しました。グループは本日、技術系投資会社である China Huaxin から Alcatel-Lucent Enterprise 買収に対する拘束力を持つオファーを受け、また同社との間に排他的協議を開始することを発表いたします。想定されている取引内容によれば Alcatel-Lucent Enterprise の企業価値(負債と手持現金精算後ベース)が総額 2 億 6,800 万ユーロと評価され、また株式総額は現在 2 億 3,700 万ユーロと推定されています。アルカテル・ルーセントは 15%の少数持株を保持することとなります。この買収提案は、規定の情報提供および協議手続きのため、近く Alcatel-Lucent Enterprise の労働者評議会(workers council)に提出されます。最終版の買収契約への調印は 2014 年第 2 四半期中に行われる見込みです。買収完了には特定の規制当局による承認を含めて一定の条件を満たすことが前提となり、これは 2014 年第 3 四半期中となる見込みです。

2013 年 12 月 31 日現在のアルカテル・ルーセント全体の年金/OPEB の積立状況は 5 億 4,600 万ユーロの超過でした。これに対し 2013 年 9 月 30 日現在は 1 億 4,600 万ユーロの超過、2012 年 12 月 31 日現在は 13 億 800 万ユーロの不足でした(いずれの場合も適用される資産上限額を考慮しています)。特に米国年金制度は適用される資産上限額を考慮せず 40 億米ドルの超過で、これに対し 2012 年 12 月 31 日現在は 27 億米ドルでした。必要な資金積立を規定する法規によればグループの米国年金制度はすでに資金が調達されており、グループからの出資は予測可能な将来にわたって必要ないと考えられます。適用される法に基づき、グループの米国での 2014 年度の OPEB 負担義務は超過年金資産により全額がまかなわれており、またそれ以降も引き続き超過年金資産により負担義務をまかなえると予想しています。

取締役会は 2013 年度について配当を行わないことを勧告しました。

アルカテル・ルーセントは今後も引き続きコスト削減、キャッシュ生成、および利益ある成長に注力し、以下の 2015 年度目標を再確認します。

- コア・ネットワーキング事業からの売上高は 70 億ユーロ、営業利益率は 12.5%をそれぞれ超える
- アクセスおよびその他の事業別営業キャッシュフローは 2 億 5,000 万ユーロを超える
- 2015 年末までに 10 億ユーロの固定費削減
- 2013~2015 年の間に少なくとも 10 億ユーロの資産を売却

この第 4 四半期と通年の業績について、アルカテル・ルーセントのミシェル・コンブ CEO は次のように述べています。

「本日の発表により、アルカテル・ルーセントは The Shift Plan の目標に向けて順調に推移していることを示しました。IP およびクラウド・ネットワーキング、ならびにウルトラ・ブロードバンド・アクセスの専門企業として自らを位置付け直し、これらの市場において大きな勢いが生まれていることを確認しています。また負債削減と再編のための資金調達活動成功により貸借対照表を強化しました。総合的には利益とイノベーションの両方競争力を大きく強化しました。今後は 2015 年末まで The Shift Plan の導入、成果実現、および実施に全面的に注力します。」

注記

アルカテル・ルーセント取締役は 2014 年 2 月 5 日に会合を開催し、2013 年 12 月 31 日現在のグループ連結財務諸表を精査し、その公表を承認しました。

記載されている数値はいずれも現在監査中です。調整後数値はいずれも未監査です。連結財務諸表は以下に掲載されています。

<http://www.alcatel-lucent.com/investors/financial-results/q4-2013>

1-「調整後」とは、ルーセント事業統合に伴う PPA(取得原価配分)の主たる影響が除かれていることを指します。

2-「営業損益」とは、事業再編関連費用、訴訟関連費用、連結法人売却に伴う損益、退職後給付制度改定に伴う損益を計上する前の、営業活動による損益を指します。

3-「事業別営業キャッシュフロー」とは、為替レートを固定した場合の調整後 2 営業損益 1 と営業運転資本を加えたものです。

2014 年の予定

2014 年 5 月 9 日、2014 年度第 1 四半期決算発表予定

原文: [Alcatel-Lucent reports Q4 and full-year 2013 results](#)

<アルカテル・ルーセントについて>

アルカテル・ルーセント(Alcatel-Lucent)はグローバル通信の分野をリードする企業であり、IP およびクラウド・ネットワーキングの製品や革新的なソリューションを提供しています。また、サービスプロバイダとそのお客様、世界中の各種法人及び政府機関に対し、超高速ブロードバンドの無線/固定アクセスを提供しています。

アルカテル・ルーセントは、音声電話技術からデータ、ビデオ、情報の高速デジタル・デリバリーへ移行しつつある業界を牽引しています。これを支えるのはベル研究所です。ベル研究所はアルカテル・ルーセントが擁する研究所で、世界最先端の研究開発機関の一つであり、数えきれないほど多くの技術革新によりネットワーキングと通信業界の形成を担ってきました。

アルカテル・ルーセントは、これまでの技術革新が認められ、トムソン・ロイター社が世界で最も革新的な企業 100 社を選出する「Top100 グローバル・イノベータ」の 1 社に選出されました。また、MIT テクノロジー・レビュー誌による「世界で最も革新的な企業」50 社の 2012 年度ランキングにも選出されています。さらに、ダウ・ジョーンズ社の「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス 2013」において、技術ハードウェア & 装置部門のインダストリー・グループ・リーダーに選定されています。アルカテル・ルーセントは、「コネクテッド・ワールド(つながった世界)」という企業ミッションのとおり、グローバル・コミュニケーションをより持続可能に、より利用しやすく、そしてよりつながりやすいものにしてまいります。

アルカテル・ルーセントはフランスのパリに本社を構える法人で、2012年の売上高は144億ユーロ。ユーロネクスト・パリ、ニューヨーク証券取引所に上場しています。

URL: <http://www.alcatel-lucent.com/>／ブログ: <http://www.alcatel-lucent.com/blog/>

ツイッター: http://twitter.com/Alcatel_Lucent

<日本アルカテル・ルーセント株式会社について>

日本アルカテル・ルーセント株式会社は、次世代のネットワーク・サービスを中心とした固定/無線アクセス、IP、光伝送、アプリケーション、エンタープライズの事業分野で関連機器及びプロフェッショナルサービス、インテグレーション、保守を提供し、国内大手通信事業者をはじめ、各種法人、政府機関など幅広いお客様をサポートしています。

所在地: 〒141-6006 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 6F／代表取締役社長: ニコラ・ブーベロ (Nicolas Bouverot)／資本金: 4億円／URL (日本サイト): <http://www.alcatel-lucent.co.jp>

.....
本件に関するお問い合わせ先:

日本アルカテル・ルーセント株式会社

コミュニケーション部 クルザーチエ・キャロリーヌ

TEL: 03-6431-7000 FAX: 03-6431-7024

E-mail: jpmarcom@alcatel-lucent.com
.....